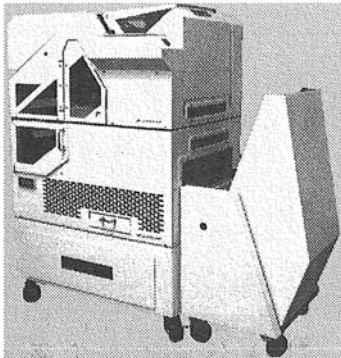


ハイ
ス
ワ
ク
イ
ッ
ク
テ

実績あるシュリンカー 10年ぶりに新機種投入



書店関連備

品などを製作、販売する
ダイワハイテックスは7月、自動コミ

ックシュリンカーの新型「RAPO1400」を写

真IIを発売した。同社の自動シュリンカーとしては10年ぶりのモデルチェンジ。オブションパーツを組み込むことで最大処理能力は10年前の960冊/時から、1400冊/時にアップ、1人で作業が行え、書店業務の効率化をより一層向上させられるという。

公表価格はシュリンカー本体が176万4000円(税込み)、20〜30冊重ねて自動投入できるオブションパーツAとシュリンク後にきれいに積み上げられる自動積載機能の付いたオブションパーツBがともに50万円。

境関連事業を手掛ける企業。書籍関連事業には1980年から参入し、同社のシュリンカーを導入した店舗はのべ4000店舗以上、6000台以上を販売し、シュリンカー分野では多くの実績がある。

この実績を支えるのは装置の性能だけではなく、同社のセールスポイントとなっている新規開店店舗に向いてのシュリンク作業。「これまでシュリンクした冊数は数えたことはないが、数百万冊あるだろう」というのは、経営戦略室チーフの中村仁氏。アフターサービスの充実が多大な実績の裏付けとなっている。

同社は書籍関連事業と環